

青葉会会報

2012 年度版

東北大学学友会



オリエンテーリング部

もくじ

P2	事務局より	事務局 今野 智一
----	-------	-----------

P3~7	2011 年度の記録	
------	------------	--

P8	男子団体戦コメント	東北大 3 年 関淳
----	-----------	------------

P9	女子団体戦コメント	東北大 OG1 年 佐野まどか
----	-----------	-----------------

P10	JWOC2011 報告書	東北大 3 年 菅野敬雅
-----	--------------	--------------

P12	主将の言葉	東北大 3 年 関淳
-----	-------	------------

P13	東北大大会や青葉会総会のお知らせ	
-----	------------------	--

P15	東北大 OLC40 周年記念誌について	東北大 OB4 年 石塚脩之
-----	---------------------	----------------

P18	今年の夏は「わいいち杯へ」	東北大 OB4 年 石塚脩之
-----	---------------	----------------

P19	寄付のお願い	
-----	--------	--

P19	事務局の連絡先	
-----	---------	--

青葉会総会&飲み会のお知らせが **14 ページ**に書いてあります。申し込み方法も記載しておきましたので、参加を予定している方はお早めに申し込みください

申し込み締め切りは **8/10(金)**です

事務局よりごあいさつ

事務局 今野 智一 (08年入学)
会計 水野 綾子 (07年入学)

拝啓

盛夏の候、青葉会の皆様におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
今年度の青葉会は上記の通り、事務局ー今野、会計ー水野が運営しております。

昨年は震災の影響でごたごたしてしまい会報発行がかなわなかったため、2年ぶりとな
ってしまいました。そのため一昨年のことから簡単に振り返ってみたいと思います。

一昨年の最も注目すべき点はインカレでの獲得メダルの多さでしょう。合わせて54枚と
歴代最多の記録を打ち立てました。

昨年は男子エリートリレーで20年ぶりに入賞を逃してしまい、山川杯もかろうじて獲得
というかなり厳しい結果となってしまいました。今年度は雪辱を晴らすために心機一転し
て頑張っしてほしいと思います

今年は男子33名、女子1名の入部がありました。現役生だけで120名超えと、東北大学
にある学友会の中でも圧倒的多数を誇る部活となっております。それっぽい大集団を大会
会場などで見かけましたら、是非お声をおかけ下さい。

また、今年度はJWOCに宮西優太郎(1年目)、佐藤雄太郎(1年目)が、ユニバーに田
邊拓也(OB1年目)が出場します。世界を相手にした舞台での後輩3人の活躍にもご期待
ください。

先日、早坂荘の取り壊しが行われ、早坂荘のあった場所は更地となっております。お世話
になった方も多いと思います。時間に余裕があれば、様子を見に行ってみてはどうでしょう？

さて、今年の東北大学オリエンテーリング大会は9年ぶりに青葉の森をリメイクして9
月2日に開催されます。現3年生を中心に、熱心に準備を進めているようです。是非ご参
加下さいますよう、運営者に代わりましてお願い申し上げます。

末筆ながら青葉会の皆様のご健康とご発展をお祈りしてご挨拶と代えさせていただきます。
す。

敬具

2012年 7月 今野 智一

2011 度東北大学オリエンテーリング部の記録

長野インカレロング 2011

2011 年 11 月 11 日

選手権クラス

ME - 9900m ↑ 590m

1	結城克哉	1:30:21	東京 3
2	立川悠平	1:33:52	新潟 4
3	関淳	1:35:31	東北 2
4	野本圭介	1:38:03	筑波 1
5	田邊拓也	1:38:41	東北 4
6	中村憲	1:38:49	東北 2
7	谷川徹	1:38:53	東北 3
15	平野弘幸	1:43:02	東北 2
19	菅野敬雅	1:46:50	東北 2
20	見目裕之	1:47:05	東北 2
23	高橋恒二	1:48:12	東北 3
47	新見健輔	2:04:33	東北 4
	渋川哲	2:39:02	東北 2

WE - 6000m ↑ 330m

1	高橋美誉	1:02:46	岩手 2
2	芦澤咲子	1:12:06	相模女子 3
3	沢田慧	1:14:14	東北 2
4	畠山真紀	1:14:33	岩手 3
5	大河内恵美	1:14:47	横浜市立 2
6	堀口奈保	1:17:13	東北 2
8	佐野まどか	1:22:28	東北 4
10	青木佳世	1:35:18	東北 3
14	鹿志村美帆	2:11:53	東北 2
16	平方遥子	1:35:18	東北 3
22	大沼由佳	2:11:53	東北 4

学生併設クラス (入賞者)

MUF - 3600m ↑ 255m

5	竹田良弘	0:39:53	東北 1
6	前田卓哉	0:39:59	東北 1
8	木村覚志	0:41:00	東北 1
9	杉村俊輔	0:41:43	東北 1

WUF - 3000m ↑ 190m

3	飯田ひかる	0:34:00	東北 1
---	-------	---------	------

MUL - 4300m ↑ 280m

2	辻上裕之	0:45:36	東北 2
---	------	---------	------

WUL - 3800m ↑ 255m

2	中村聖美	0:51:40	東北 2
---	------	---------	------

MUS - 3000m ↑ 190m

1	中井智規	0:25:55	東北 4
3	小池俊樹	0:34:04	東北 3

WUS - 3000m ↑ 190m

3	日比谷由紀	0:45:11	東北 2
---	-------	---------	------

滋賀インカレミドル 2011

2011年3月9~11日

ミドル選手権の部

MEA - 2.8km ↑ 195m

1	細淵晃平	0:36:06	一橋 2
2	結城克哉	0:36:18	東京 3
3	平野弘幸	0:36:58	東北 2
4	伴毅	0:37:27	京都 4
5	太田瑛佑	0:38:09	早稲田 4
6	北翔太	0:38:27	金沢 3
8	関淳	0:39:17	東北 2
10	菅野敬雅	0:40:35	東北 2
13	中井智規	0:41:41	東北 4
14	中村憲	0:41:44	東北 3
21	田邊拓也	0:44:32	東北 4
30	佐藤大典	0:48:13	東北 2
38	見目裕之	0:54:11	東北 2
45	齋藤遼一	0:59:07	東北 3
46	杉村俊輔	1:00:52	東北 1
51	新見健輔	1:13:21	東北 4
52	高橋恒二	1:15:13	東北 3

WEFA - 2.7km ↑ 160m

1	芦澤咲子	0:31:54	相模女子 3
2	高橋美誉	0:32:49	岩手 2
3	星野智子	0:35:36	津田塾 4
4	稲毛日菜子	0:35:53	お茶の水 1
5	佐野まどか	0:38:48	東北 4
6	小玉千晴	0:39:37	椋山女子 2

ミドル一般の部 (入賞者)

WEB - 2.4km ↑ 150m

3	沢田慧	0:39:01	東北 2
---	-----	---------	------

MUA2 - 2.4km ↑ 200m

3	境沢勇人	0:35:33	東北 2
---	------	---------	------

WUA - 2.2km ↑ 170m

3	青木佳世	0:41:32	東北 3
---	------	---------	------

MUB - 2.4km ↑ 125m

2	伊澤裕紀	0:28:49	東北 4
---	------	---------	------

MUF1 - 2.4km ↑ 130m

1	渡邊祐司	0:22:29	東北 1
---	------	---------	------

MUF2 - 2.5km ↑ 100m

1	門口昌宣	0:22:37	東北 1
3	竹田良弘	0:23:29	東北 1

リレー（選手権の部）

ME

1	東京大学	真保 陽一	三谷 洋介	結城 克哉
	2:27:41 (1)	BQZ 2 男	0:44:54 1 0:44:54 1	ASY 0:36:11 1 3 男 1:21:05 1
2	一橋大学	細淵 晃平	池田 純也	羽野 嵩志
	2:31:47 (6)	BRX 2 男	0:48:16 1 0:48:16 2	CSY 0:39:08 2 3 男 1:27:24 3
3	京都大学	寺田 啓介	岡本 耀平	伴 毅
	2:35:53 (5)	CQX 3 男	0:48:31 1 0:48:31 3	BSZ 0:38:50 1 3 男 1:27:21 2
4	名古屋大学	内田 亘紀	菅谷 裕志	瀧本 拓央
	2:38:48 (2)	ARZ 4 男	0:51:28 1 0:51:28 7	BSX 0:36:12 1 4 男 1:27:40 4
5	金沢大学	北 翔太	石坂 翼樹	辻 晃
	2:41:36 (32)	BRX 3 男	0:51:32 2 0:51:32 8	CSY 0:37:17 1 3 男 1:28:49 5
6	東京工業大学	山本 剛史	曾原 直也	大嶋 拓実
	2:42:30 (7)	CRX 3 男	0:51:09 2 0:51:09 6	ASY 0:40:19 2 3 男 1:31:28 6
7	東北大学	関 淳	菅野 敬雅	田邊 拓也
	2:42:30 (3)	BY 4 男	0:50:43 1 0:50:43 4	CZ 0:40:51 1 4 男 1:31:34 7

WE

1	金沢大学	横山 理恵	池嶋 美佳	帖地 藍			
	2:40:12 (59)	BRZ 2 女	0:51:53 0:51:53	1 CSX 6 2 女	0:49:18 1:41:11	2 AQY 1 2 女	0:59:01 2:40:12
2	お茶の水女子大学	田中 千晶	春名 敦子	稲毛 日菜子			
	2:40:18 (62)	AQZ 2 女	0:48:47 0:48:47	2 CSY 2 4 女	1:01:44 1:50:31	2 BRX 4 1 女	0:49:47 2:40:18
3	岩手大学	島山 真紀	關 明日香	高橋 美誉			
	2:44:20 (56)	BRX 3 女	0:51:12 0:51:12	3 CSY 5 2 女	1:07:47 1:58:59	3 AQZ 7 2 女	0:45:21 2:44:20
4	東北大学	平方 遥子	沢田 慧	佐野 まどか			
	2:44:57 (53)	AQY 3 女	1:00:55 1:00:55	2 CSX 10 2 女	0:47:20 1:48:15	1 BRZ 3 4 女	0:56:42 2:44:57
5	椛山女学園大学	小島 優	小玉 千晴	吉川 真由			
	2:50:21 (51)	BQZ 2 女	1:07:36 1:07:36	1 ASY 16 4 女	0:45:54 1:53:30	1 CY 6 3 女	0:56:51 2:50:21
6	相模女子大学	池澤 芽衣	岩崎 彩香	芦澤 咲子			
	2:50:42 (55)	CQX 4 女	0:49:18 0:49:18	2 BSZ 4 2 女	1:11:21 2:00:39	2 ARY 9 3 女	0:50:03 2:50:42

リレー（一般の部）

MUR

	東北大学 MN	渡邊祐司	西本昌史	杉村俊輔
8	1:38:59	C	0:35:39 33	A 0:31:49 22 B 0:31:31 15
	(119) 新人	1 男	0:35:39 26	1 男 1:07:28 11 3 男 1:38:59 8

WUR

	東北大学 WA	中村聖美	堀口奈保	青木佳世
1	1:36:34	C	0:33:43 12	A 0:32:03 10 B 0:30:48 10
	(302)	2 女	0:33:43 3	2 女 1:05:46 1 3 女 1:36:34 1

XUR

	東北大学 XA	渡邊彩香	関口智大	伊澤裕紀
1	1:25:33	A	0:33:47 14	B 0:23:42 1 A 0:28:04 8
	(401)	2 女	0:33:47 7	3 男 0:57:29 3 4 男 1:25:33 1

男子団体戦コメント

関淳（10年入学）

2011年度滋賀インカレにおいて男子選手権1走を務めた関淳です。今年度、目標は各個人に任せられ、結果7位、20年ぶりに入賞を逃す、という非常に苦汁をなめる結果となってしまいました。

今回、選考方法はセレクションレース及び立候補者内での話し合いの形を採用しました。セレクションレースは1月（ジュニアチャンピオン大会）と2月（早大OC大会）に行われました。その過程で2月上旬のリレーの大会（山川リレー）も参考に選手、走順を決定しました。今後も選考方法は優勝を目指すに当たり、非常に難しい課題となりそうです。

選考レースにより4年田邊さん、2年菅野、私の3人が選ばれ、非常に若いチームとなりました。走順は各人の希望、リレーの大会の結果を踏まえ、関-菅野-田邊と決まりました。理想的な展開としては1走関がトップ集団で帰ってきて、2走菅野がつなぎ、3走田邊で勝つ。また、どんな展開で回ってきても、自分の走りをするというものでした。

しかし、レース展開はうまいようにはいかず、私が上位集団から遅れ、トップとは5分差、2位集団とは2分差、2走菅野も自分のレースができず、3走に渡った時点で7位、優勝は絶望的でした。そんな状態で田邊さんに渡してしまったことが悔しくて仕方ありません。私は1走として、田邊さんにどんな回しだったのか、どういったのか、ポストは見やすいのか、どこのレッグが危ないのかなど情報伝達しました。田邊さんは第一中間で前の選手に追いつくもその後にミスを重ね、そのままフィニッシュ。結果7位。

「入賞はできるだろう。」「何かあっても田邊さんがどうにかしてくれる。」その甘えがありました。負けるべくして負けたのかもしれない。この負けを無駄にしないためにも、私はもっと強くなる。強くなりたい。勝ちに導く選手になりたい。

もちろん、1人だけ速くても意味がないのはわかっています。しかし、頼もしい先輩方や伸びつつある後輩たち、そして同期と支え合い、切磋琢磨して、部全体で成長していきたいと思います。

ある先輩に言われた「選手権を走ると部のありがたみがわかる。」という言葉が今回ひしひし伝わってきました。応援非常にうれしかったです。この部のために走りたい、そしてみんなで喜びたい、そして今回の悔しさを胸に1年間、トレーニングを続けていきたいと思います。

最後に一緒に選手権を走ったメンバー・応援して下さった方に感謝したいと思います。「ありがとうございました。強くなります。待っててください。」

女子団体戦コメント

佐野 まどか(2008年入学)

東北大 OLC・OG 1年目の佐野です。2011年度インカレリレー・選手権クラスで3走を走らせて頂きました。結果は4位でした。

2008年度選手権リレーにおいて、東北大女子は初優勝しました。3走の阿部ゆかりさんが15分差を引っくり返すドラマチックな展開で、当時1年生だった私の記憶に鮮明に刻まれる出来事となりました。2009年度は昨年のように優勝を、とっていたところ、当時強豪であった椛山女学園大学に敗れ2位となりました。2010年度も1走・水野綾子さんがトップゴールを果たしたものの優勝には届かず、3位という結果に終わりました。

2年連続で苦汁をなめ、2011年度は優勝したいという思いがより一層強くなりました。女子部員は全12名と大所帯になり、平方遥子が女子主将として1年間私達を引っ張ってくれました。また、当時OB・OG1年目であった影山奨さん、水野綾子さんも女子アドバイザーとして尽力して下さいました。

2011年度選手権リレーには6名が立候補し、セレクションレースを設定し、他大分析・トレイン分析を行い、話し合いを重ねてきました。実力が拮抗した選手が多くメンバー選考は難を極め、本番3週間前の4時間半にわたる話し合いの末、一部は前日ミドルの結果を考慮して決めることとし、数々のパターンを想定した本番シュミレーションを行いました。ところが、ミドルもまた解釈が難しい結果となり、賑わう会場の隅で再び話し合うこととなりました。そして最終的に、全員の納得のいくメンバーを決めることができました。

迎えたリレー当日、1走の平方遥子は額に大きな傷を負いながらも懸命に走り、10位で帰ってきました。2走の沢田慧は快走し、順位を7個上げ帰ってきました。チェンジオーバーを受け、今年は絶対に絶対に負けない！と意を決して出走しました。ところが、情けないことにレースは体力的に厳しく、他大のエースに次々と追い抜かれていきました。そして、ゴール後に「4位」のアナウンスが聞こえ、今年も順位を下げてしまった、エースを任された自分は何もできなかったと悔しい思いで一杯になりました。

優勝を逃し続けていますが、優勝からは遠ざかっていないと思います。お互い高い志を持って切磋琢磨できる環境は、今の東北大女子の強みです。それは女子だけで築き上げたものではないと思います。リレー当日にはOB・OGの先輩方から沢山の応援の言葉を頂き、90名近くの東北大部員の大応援に包まれてゴールでき、多くの人の支えがあったからこそここまで成長できたのだなと心から感じました。

今年度の女子は1年生が1名、それと宮城大からも1名入部したようです。現在は2年生がいなかったため、女子の入部が途絶えなくて本当に良かったです。今度こそ優勝して、沢山の人間で活気にあふれた東北大 OLC をさらに勢いづけてほしいと心から願っています。後輩達の今後の活躍が楽しみです。

今後とも温かな応援をよろしくお願いします。

昨年ポーランド Wejherowo にて開催された JWOC2011 に日本代表として参加してきました菅野と申します。簡単ですが報告させていただきます。

1. セレクションまで

1年のインカレロングの頃あたりから薄っすらと JWOC を意識し始めていました。そして、新年を迎えナショナルチームの HP に選考方法が発表されました。その選考方法は、セレクションレースだけでなく、富士や愛知などでの数回の合宿での取り組みも考慮に入れるというもので、遠方の東北勢にとってはとてもハードルが高く感じられました。しかし、私にとってこの高さが逆に作用して、出るからには絶対通ってやる、という気持ちで選考に臨むことができました。セレクションレースでは1位はとることができなかったものの、ミドル、スプリント、ロングともまずまずの結果を残すことができ、代表に選考されました。

2. JWOC まで

トレーニングは避けがちなスピトレも含め、これまでにないくらい順調にできていました。左足首の捻挫を治したばかりでしたが、月 200km に迫るくらい走りました。数回の合宿では、豊富で質の高いメニューを、レベルの高い選手達と競りながら、コーチにも恵まれた環境の中でこなしていきました。オリエンテーリングと真剣に向き合い、しっかりと上達していったのがわかりました。部でも川内キャンパスと雨宮キャンパスに手作りの大きな横断幕を掲げたり、募金箱を設置したり、他にもたくさんの方の支援をさせていただいて感無量でした。

3. トレーニングキャンプ

6月末に大勢の部員に見送られ、日本を発ちました。ポーランドでは本戦前の約1週間、トレーニングキャンプを行いました。その中でトレインや地図の表記などの日本との違いを確認していきました。例えば、植生界はぱっと見ではわかりづらいものが多いことや、地面は固いため走りやすく、登りも楽でしたが、逆に下りは足への負担が大きいこと、高緯度のためコンパスの針の動きがやや遅いこと、などです。本戦へ向けての調整なので、あまり無理はせずに取り組みました。チームメイトとも打ち解け、街へ買い出しに行ったり、ホテルのビリヤードやボードサッカーで遊んだりしつつ、リラックスして過ごしました。

4. JWOC 本戦

1) スプリント

初戦はスプリントでした。普段通り臨んだつもりでしたが、かなり緊張していました。レースは、脱出直後にショートしたり、オーバーランしたり、スプリントではやってはいけないミスを重ねてしまい、結果後ろから2番目の順位でした。大きくショックを受けました。プレッシャーの掛かったレースがいかに難しいかというものを痛感し、それを乗り越えてこそ強い選手なのだな、と思いました。本戦はまだまだ続く、気持ちを切り替えて次の日に臨みます。

2) ロング

なんとトップスタートを引き当て、1番ゼッケンを腹と背に貼り、初めての10km以上のレースということで、ペース配分に注意して走りました。序盤はいくつかミスもあり、またロングレッグ途中の下りで勢いづき一回転して腕を打ち、数分動けなくなりました。それでもなんとか走れる状態になり、その後はそれなりにレッグをこなしていきました。順位は119位/約160人中。日本選手のなかではトップと9分差、3番目でした。良い結果とは言えないものの、前日より大分まし、次のミドルに控えます。

3) ミドル予選

私の一番の目標であったミドル B-fin 通過。予選各組 40 位以内で B 通過です。レースの方は、イメージ良く回ることができ、特に前半はいいペースで走れましたが、終盤ほかの選手と競っているときにショートして数刻立ち止まってしまい、それがロスタイムとなって 46 位に終わりました。ルート上、ポストの直前のことだったのでなおさら悔やまれました。ただ、JWOC のレースの中で一番刺激的なレースで、非常に楽しめました。

4) ミドル決勝

中一日挟んでの決勝は、ふがいない内容でした。キレのない走りをして日本チームで一番遅い結果でした。どうしようもなく会場では落ち込んでしまいました。

5) リレー

リレーは A チームの 2 走を走りました。前半は少し後にチェンジオーバーした真保に追いつかれたものの、まあまあ走りでしたが、ビジュアル後のロングレッグ、アタックで藪の中のポストを見つけられず、そのまま現在地ロストし 10 分ほどのミスをしてしまいました。チームとしては 3 走の宮西が追い上げてくれましたが、後味の悪いレースとなりました。

5. JWOC2011 を終えて

今回は初めての海外での、日本を代表してのオリエンテーリングという、滅多にできない経験をさせていただきました。「世界と同じ舞台に立って勝負する」これが私の JWOC 全体を通しての目標でしたが、自分と世界の果てしない差を痛感させられる結果となりました。プレッシャーの強い中で自分の実力を発揮することの難しさを知り、これから選手権などで結果が求められるとき、この経験をどのように生かしていけるのか、まだまだ甘い私ではありますが、その分伸び代も大きいと思っていますので、これからのオリエンテーリングに繋げていけたらと思います。

私の挑戦は終わりましたが、これからも JWOCer 達の挑戦は続いています。今後も東北大 OLC から多くの後輩たちが JWOC を目指してセレクションを受け、世界へと飛び立って行ってほしいと思います。本気でオリエンテーリングに向かい合う絶好の機会を大事にしてほしいと願っています。

最後になりましたが、JWOC に挑戦するにあたり、両親をはじめ、オリエン部の皆さんや、青葉会の方々などたくさんの方からのご支援や応援をいただきました。本当に自分は幸せ者だと思います。心から感謝いたします。ありがとうございました。

2012 年度新執行部の紹介

主将：関淳 3年

副将：西本昌史 2年

主務：菅野敬雅 3年

副務：渡邊祐司 2年

会計：鎗山純 2年

会計監査：杉村俊輔 2年

主将コメント

関 淳 (10年入学)

本年度東北大オリエンテーリング部主将を務めさせていただきます関淳です。どうぞよろしくお願いいたします。

さて昨年度のインカレリレーでは男子団体は残念ながら20年ぶりに入賞を逃すという結果に終わりました。優勝を目指し、取り組んできたのですが、1、2走の出遅れや3走エース田邊の不調も重なり、全員が力を発揮できず、不完全燃焼となりました。一方、女子団体の方は、優勝候補筆頭に挙げられながらも1走の出遅れが響き、4位入賞となりました。山川杯も名古屋大学に僅差に迫られながらの獲得となりました。今回のインカレは東北大にとって非常に苦汁をなめる結果になりました。

本年度は、団体戦の優勝をはじめ、全クラスを制覇しての山川杯獲得という目標を掲げ、部全体で取り組もうと考えております。団体戦に関しては0からの挑戦ということで、優勝をめざすこととなります。しかし、男子・女子ともに選手権リレーを走ったメンバーが2人残り、部内のレベルも上がり、みな燃えております。08年入学が卒業することによって東北大学の「優勝」を見た代が抜けてしまいました。現役生は「優勝」を見たことがありません。見たことがない、大きな喜びであろう団体戦優勝に向かい日々トレーニングに励んでいきたいと思っています。また、山川杯の獲得にも力をいれ、本年度も活躍できるよう努力してまいります。

最後になりましたが、この場を借りて先輩方の日々のご支援に感謝申し上げます。そして、本年度も変わらぬ応援・ご支援を賜りますようお願いいたします。

青葉会事務局からのお知らせ

この場をお借りして、東北大大会や青葉会総会のお知らせを掲載しようと思います

○第 35 回東北大大会 (トレイン：青葉の森) ○

開催日：9月2日(日)

青葉の森が9年ぶりにリメイクされます。山ランといえば青葉の森、現役時代はよくトレーニングしに行ったのではないのでしょうか？大学からも近く、久しぶりに部室をのぞいてみるのもいいと思います。懐かしい思い出にふけりつつも楽しいレースが出来ること間違いなし。皆様ぜひご参加ください。

詳細については以下のHPを参照してください(部のHPからリンクがあります)

東北大学大会ホームページ

URL

<http://www.olc.org.tohoku.ac.jp/taikaiHP/35th.olc.org.tohoku.ac.jp/index.php>

○東北大大会前日イベント (トレイン：台原) ○

開催日：9月1日(土)

東北大学大会の前日イベントとしてミドルとトレイルが台原で行われます。いつも練習会等でお世話になった台原がリメイクされての登場です。トレイルはJOA公認、ミドルについては青葉会選手権を兼ねて行うということで、より一層楽しめることでしょう。時間に余裕のある方は是非参加してみてください

前日イベントホームページ

URL

<http://tohoku-before2012.seesaa.net/>

○青葉会総会&飲み会(国分町)○

開催日：9月1日(土)

例年に習いまして、1日の夜に**青葉会総会&飲み会**を行います。時間は19時ころ開始を予定していますが、前日イベントのスケジュール次第では遅くなる可能性があります

今年度の東北大大会が青葉の森で開催されることもあり、移動も楽であろう国分町で行うことにしました。遠方から参加される方は厳しいかもしれませんが、多数の方にご参加いただければ幸いです。**参加申し込みは下記アドレスに電子メールでお願いします。総会は飲み会の始めに行う予定**ですが、取り上げてほしい議題などございましたら、参加申し込みのメールにその内容も記載してください

店は参加人数によって決めますが、予算は3000円前後の予定です。参加費は当日回収させていただきます。青葉会の先輩や後輩、同期と会える滅多にない機会です、皆様の参加を心よりお待ちしております。

詳細が決まりましたら、連絡いただいたメールアドレスにメールさせていただこうと思います。よろしくお願ひします

青葉会総会申し込み先：事務局長 今野 智一 (08年入学)

E-mail: t.konno@nanosys.mech.tohoku.ac.jp

携帯: 090-3647-9561 (急ぎの場合)

申し込み締め切り：8/10(金)

東北大 OLC 40 周年記念誌について

2010 年度青葉会事務局長 石塚 脩之 (2005 年入学)

2010 年度の青葉会事務局長を務めさせていただきました、石塚と申します。

この原稿では、2010 年度の青葉会総会で議題として取り扱った「東北大 OLC 40 周年記念誌について」の報告をさせていただきます。青葉会ホームページにある「2010 年度青葉会総会議事録」とかぶる内容が多いですが、ご了承ください。

【1】 記念誌発行の背景 (名児耶さんの文章の転載)

◆きっかけ

2010 年は、東北大オリエンテーリング部 創部 36 年目ですが、青葉会として 35 年誌を準備しそびれたことに気づきました。2003 年 8 月までの貴重な情報は、以下のページにまとまっており、競技、新歓、各種コンパで、有望な後輩たちの活躍を気にする諸先輩のみなさまより、情報収集の継続をのぞまれています。

30 周年誌ページ(2002 年-2003 年 けんけんさん編集):

http://homepage3.nifty.com/zin2/sakusaku/3_1.htm

4 年限りの部活動、5 年目以降の競技、仙台ライフ、ほか...を楽しむ中で、発信していただいたキーワードをキャッチできるように、Wiki ページを準備してみました。

◆目標

- ・ 多少不完全でも、キーワードの蓄積を目指す。
- ・ 形式、分量、内容などはあまりこだわらないが、あとで情報をたどりやすいようにする。
- ・ 有識者の情報をもちより、いっせいに、追記できるようにしちゃう。

◆アクションアイテム

- ・ 2003 年 8 月以前の情報を、30 年誌ページより拝借する
- ・ 2003 年 8 月以降の情報を、じょじょに追記する
- ・ インカレ、富士登山駅伝、早坂荘、の 3 テーマを、とくにスピード重視で反映する

◆Wiki ページのメリット

- ・ だっちゃん、青葉会会報をなくしちゃったメンバーが、バックアップデータとして活用できるようになる。
- ・ キーワードを手がかりに検索スピードアップできる。
- ・ たとえ同じ場所、同じ時間、同じメンバーで集まれなくても、情報を共有し、話のネタにできる。

<転載ここまで>**

【2】 2010 年度青葉会総会での決定内容

情報整理を以下の項目で行うことになりました。

- ・ インカレの成績
- ・ 富士登山駅伝の成績
- ・ 早坂荘の情報（歴代の住民など）
- ・ 年間統括（主将の言葉みたいなもの）
- ・ 歴代トリム画像
- ・ 東北大大会の情報
- ・ 部内杯（5年以上続いたものを部内杯と定義）

情報整理が済んだ際に、**会報の紙発行を行うかどうか**については以下のような意見が出ましたが、まとまらなかったで「**次回の青葉会総会で決定する**」ことになりました。

【紙発行をする】

- 保存が容易
- 部室においておけば後輩が見ることができる
- ×手間と金がかかる
- ×印刷依頼をどうするかが怪しい
- ×配布先をどうするか

【紙発行をしない】

- 再発行が容易
- 手間・金がかからない

【3】 現在の活動内容

以上の経緯により、まずは東北大 OLC の歴史について情報整理を行うことになりました。

情報のまとめページは

<https://sites.google.com/site/aobakaiyamazuki/>

です。現在、名児耶さんと石塚で管理しています。本当は管理人の仕事を後輩に引き継ぐ予定だったのですが、昨年青葉会総会が開かれなかったため、今年の青葉会総会までは私が管理させていただきます。

さて、上記サイトについてなのですが、空白部分が多いのが現状です。特に、私が入学する前（～2004年）および私が卒業した後（2011年～）の情報が不足しております。そこで…

<お願い>

空白部分に関してご存じの情報がありましたら（例えば「この年の富士登山駅伝の結果知っている！」「部内杯の結果が間違っている！」とか）、お手数ですが石塚 [yi.colorful \[at\] gmail.com](mailto:yi.colorful[at]gmail.com) まで情報提供していただけないでしょうか？

今年度いっぱい、こちらのアドレスにご連絡いただければ私の方で編集を行わせて頂きます。

<お願い その2>

「知っていることがたくさんあって、いちいちメールするのが面倒だ」という方は、ぜひ直接編集を行っていただけませんか？

石塚 **yi.colorful [at] gmail.com** まで Gmail アドレスを添えてご連絡いただければ、私の方で編集可能なように設定を変更します。Google アカウントがないと直接編集は行えないので、その辺はご了承ください。

サイトの直接編集は、Google にログイン状態でサイトにアクセスしてください。すると、画面上の方に「ページの編集」というボタンがあるので、それをクリックすると編集できます。出ない場合は、画面下の方からログインしてください。

【4】 次回の青葉会総会に向けて

【2】でも述べたように、情報整理が済んだ際に**会報の紙発行を行うかどうか**について「**次回の青葉会総会で決定する**」ことになっております。

名見耶さんも言っていたように、すでに 35 周年は過ぎてしまっており、今年は 38 周年。2 年後までになんとか形にしたいと考えております。

多くみなさまのご協力（編集）を頂ければ幸いです。制度として不十分な面もありますが、今後の議論でよりしっかりしたものにしていければと思います。

よろしく願いいたします。

うめくさ

うめくさ書くのすごく久しぶりです。

もっとうめくさ

せっかくだから大会の宣伝でもします。

今年のインカレロングは 12/2、神奈川県南足柄市「あしがら金太郎の里」（2008 年度インカレミドル・リレー、全日本大会のテレイン）で行われます。観戦ついでに足を運んでみてはいかがでしょう？

さらにうめくさ

インカレロングの 1 ヶ月前、11/3・4 は神奈川で横浜 OL クラブ 35 周年 2 日間大会があります。初日は河川敷・2 日目は森林ありの公園で開催と言うことで、いまま最前線で活躍するティアはもちろん、ひさびさにオリエンテーリングをやってみようという方にもオススメの大会です。関東にお住まいの方はぜひお越しくださいませ。

ラストうめくさ

あ、もう 1 つ大会の宣伝が…でももうスペースが。これは別のページに載せてしまおう…。

今年の夏は「わいいち杯」へ

わいいち杯広報 石塚 脩之

2003年入学の後藤陽一さん(2005年度主将)が、自身オリエンテーリング歴10周年ということで、なんと大会を開くことにしてしまいました。今年の夏において、最も熱い大会になること間違いなし!

こよなくオリエンテーリングを愛して早10年
東北大OLCの一時代を築き、阪大OLCの復興を担った
異彩のコースプランナー、後藤陽一が
全てのオリエンティアに感謝として贈る

夏の本格ロング大会

わいいち杯 @愛知

2012年 **8/12** (日) 開催 (荒天中止)

トレインは **亀山城と武家屋敷址**
名勝負の舞台が再登場!

クラス	コース距離	コース情報			
		体力	技術	縮尺	備考
E	11-13 km	★★★★★	★★★★★	1:15000	◆体力・技術を要する最上級コース 世界レベルのキツさ。超長い。ヤバい。
DM	9-10 km	★★★★★	★★★★	1:15000	◆体力を特に必要とするコース インカレロングMEレベル
M	6-7 km	★★★★	★★★	1:10000	◆体力を特に必要とするコース
DS	4-5 km	★★★	★★★★★	1:10000	◆技術を特に必要とするコース インカレミドルMEレベル
S	3-4 km	★★	★★★★	1:10000	◆技術を特に必要とするコース
NML	6-7 km	★★★★	★★★★	1:10000	◆通常のロング大会のM21Aレベル 普通のコースが走りたい人へ
V	2-3 km	★	★★★	1:10000	◆ベテラン向け 熟練者の挑戦もお待ちしています
Children	6-7 km	★★★★	★★★	1:10000	<参加資格あり> 所属に「わいいちチルドレン」を含む 参加者が出場可能。特別表彰対象。 集えチルドレン!



上位表彰

(各クラス上位3名の方を表彰します)



わいいち杯

(「わいいちチルドレン最強は誰だ!」 Childrenクラス優勝者を表彰します)



ラスポゴール王者賞

(誰もが狙ってやまないラスポゴールのラップタイム。その最速の人を表彰します)



ビジュアリスト賞

(???)

~ある夜のQ&A~

Q: コース情報のNMLって「ノーマル」ですよね? 「普通のコースが走りたい人へ」なんて書いてますけど、つまり、他のコースは普通じゃないんでしょうか?

A: いやいやいや、ままままかさそんなことは(汗)

興味をもった方は Web へアクセス!

わいいち杯

検索

ポチッ

○寄付金のお願い○

青葉会運営資金は、東北大学オリエンテーリング部 OB・OG の皆様の寄付によって賄われております。インカレの広告費や入賞者への花束代などはこの運営資金から捻出されています。

青葉会として、現役生への期待を込めて、できるだけの援助ができればと考えております。誠に恐縮ではございますが、寄付をよろしくお願い致します。一口 1000 円です。

寄付は郵便振替でお願いします

加入者名：「青葉会」 **口座番号：02280-8-4697**
通信欄に住所、氏名、電話番号、E-mail アドレスをご記入下さい

郵便振込みではなく、銀行振り込みなどをご希望の方については個別に対応させていただきますので事務局までご連絡ください。

○事務局の連絡先○

青葉会総会への参加申し込みや、その他ささいなことでもご意見、ご要望などございましたら、下記の事務局までご連絡ください

また、住所変更や、パソコンのメールアドレスを変更した場合なども、お手数ですが下記アドレスまで連絡ください

青葉会事務局 今野 智一 宛
〒980-8576 仙台市青葉区川内 41 東北大学応急学生寄宿舍 111
E-mail: t.konno@nanosys.mech.tohoku.ac.jp
携帯: 090-3647-9561 (急ぎの場合)

2012 年度版青葉会会報
2012 年 7 月発行
発行責任者：今野 智一